

運用報告書（全体版）

第3期

（決算日：2023年2月27日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2030年2月25日(月)まで(設定日：2020年3月24日(火))	
運用方針	SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド(ベビーファンド)	SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド(ベビーファンド)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券(マザーファンド受益証券及び上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回(2月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。 なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

SBI中国テクノロジー株 ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI中国テクノロジー株ファンド」は、2023年2月27日に第3期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式 組入比率	純資 産額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率		
(設定日) 2020年3月24日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 392
1期(2021年2月25日)	12,182	0	21.8	89.6	819
2期(2022年2月25日)	12,268	0	0.7	93.3	651
3期(2023年2月27日)	10,409	0	△15.2	94.0	509

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式 組入比率
		騰落率	
(期首) 2022年2月25日	円 12,268	% —	% 93.3
2月末	12,367	0.8	93.3
3月末	11,564	△5.7	94.1
4月末	9,689	△21.0	94.0
5月末	10,116	△17.5	94.1
6月末	11,728	△4.4	91.0
7月末	11,483	△6.4	94.5
8月末	11,058	△9.9	92.8
9月末	10,108	△17.6	97.4
10月末	10,132	△17.4	97.3
11月末	9,936	△19.0	96.4
12月末	9,446	△23.0	95.4
2023年1月末	10,575	△13.8	93.9
(期末) 2023年2月27日	10,409	△15.2	94.0

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年2月26日から2023年2月27日まで）

○基準価額等の推移



期首：12,268円
期末：10,409円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：△15.2%

（注1）当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

【基準価額の上昇要因】

- ・2022年12月から行われたゼロコロナ政策の解除と経済再開。
- ・中国政府による自国のハイテク企業強化の動き。
- ・中国政府による景気刺激策への期待及び中国人民銀行による金融緩和政策。
- ・通期での人民元高円安。

【基準価額の下落要因】

- ・米国をはじめとした主要国の金融政策正常化の動きと、それを受けた世界的な金利上昇。
- ・米中関係の緊張と米国の中国企業、特にハイテク企業に対する規制強化。
- ・2022年11月ごろまで続いた中国政府による新型コロナウイルスの感染拡大抑制策（ゼロコロナ政策）。
- ・中国不動産市場の混乱。
- ・中国政府による大手ハイテク企業への規制強化の動き。

○投資環境

当期の中国株式市場は、下落しました。期初、上海のロックダウンが長期化し北京の防疫措置が強化されたことから市場は軟調に推移しましたが、政府がインフラ投資の拡大、消費刺激策などによる景気下支えを表明したことにより、ある程度下値が抑えられました。5月ごろ、金融緩和策、不動産取引規制の緩和といった政府の支援策により、市場は底打ちし一時的に上昇しました。7月は建設が止まった住宅の購入者が住宅ローンの支払いを拒否する動きが見られたことや、プラットフォーム企業に対する政府の規制強化の動きが嫌気され軟調となりました。さらに米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げも悪材料視されました。

2022年末にかけて、ゼロコロナ政策による経済活動の制限が悪材料となり、米国の対中ハイテク規制もあり低迷しました。2023年に入り、政府のインターネット企業規制が緩和されるとの期待やゼロコロナ政策の解除を受け、市場は徐々に回復に向かいましたが、2月に入ると米国株安や気球を巡る米中関係緊張により再び株価は軟調となり当期を終えました。

当期の為替相場に関しては、米国国債利回り上昇に対ドルで人民元安が10月ごろまで続きましたが、その後は債券利回りの上昇一服を受け人民元は反発しました。対円では、10月ごろまで人民元高円安が進行しましたが、10月以降はドル高修正のなか人民元は、金融政策の修正期待のある対円で軟化しました。期を通しては人民元高円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

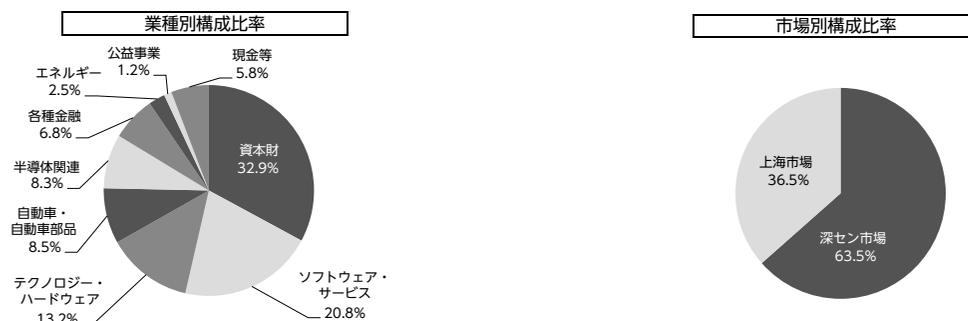
<当ファンド>

主要投資対象であるSBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI中国テクノロジー株・マザーファンド>

上海証券取引所及び深セン証券取引所、創業板に上場している銘柄のうち、革新的なテクノロジーやサービスを提供する銘柄に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期は、システム、アプリケーション関連に加えEV、インフラ関連へのシフトも進めました。銘柄数は、30銘柄前後を維持しました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

当期末の為替レート

通貨	レート	期首比
	円	%
人民元 (オフショア)	19.53	+6.8

※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2022年2月26日～ 2023年2月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,020

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI中国テクノロジー株・マザーファンド>

当期、①米国をはじめ主要国のインフレ抑制のための利上げと各国長期金利の上昇、②米政府による中国企業への規制強化の継続、③世界的な株安、④昨年未まで続いたゼロコロナ政策による経済活動の制限などから、軟調な株式市場が続いています。一方で、2023年に入り、ゼロコロナ政策解除により経済再開が本格化してきております。中国政府による景気刺激策の効果も発現し始めており、全体として、回復に向かい始めています。

国際競争力のある企業、政府の支援の期待される再生エネルギー、環境、EV関連や輸入代替的な製造企業などを中心に投資を行い、パフォーマンスの向上を目指して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月26日～2023年2月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	136 (59) (71) (6)	1.272 (0.553) (0.664) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	38 (38)	0.360 (0.360)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.070 (0.070)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷) (その他)	58 (26) (13) (18) (0)	0.539 (0.245) (0.122) (0.171) (0.002)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 信託事務の処理、支払利息等にかかる費用
合 計	239	2.241	
期中の平均基準価額は、10,683円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

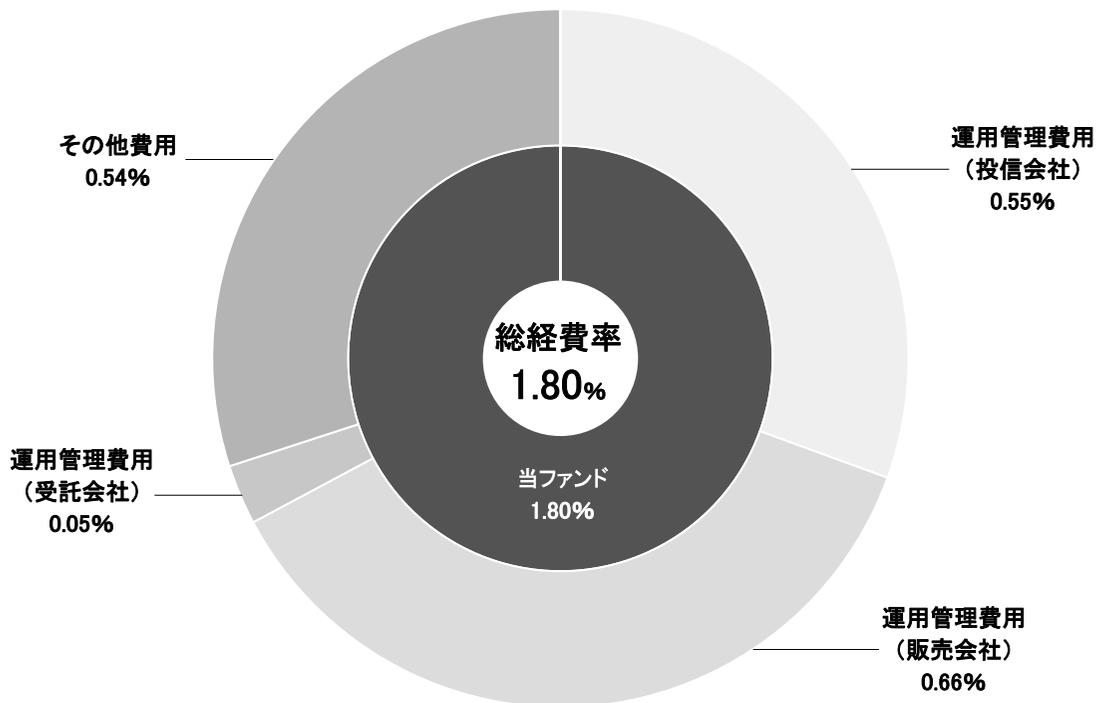
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**1.80%**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月26日～2023年2月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI中国テクノロジー株・マザーファンド	130,624	142,000	178,503	196,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年2月26日～2023年2月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	SBI中国テクノロジー株・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	647,852千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	511,597千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.26	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月26日～2023年2月27日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
SBI中国テクノロジー株・マザーファンド	531,999	484,119	508,664

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年2月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
S B I 中国テクノロジー株・マザーファンド	千円 508,664	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,030	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	514,694	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) S B I 中国テクノロジー株・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (481,546 千円) の投資信託財産総額 (508,663 千円) に対する比率は94.7%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1 人民元 (オフショア) = 19.53 円。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	514,694,835円
コール・ローン等	6,030,252
SBI中国テクノロジー株・マザーファンド(評価額)	508,664,583
(B) 負債	4,935,648
未払解約金	1,060,325
未払信託報酬	3,214,427
未払利息	16
その他未払費用	660,880
(C) 純資産総額(A - B)	509,759,187
元本	489,713,657
次期繰越損益金	20,045,530
(D) 受益権総口数	489,713,657口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,409円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	531,454,510円
期中追加設定元本額	200,310,457円
期中一部解約元本額	242,051,310円

○損益の状況 (2022年2月26日～2023年2月27日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,576円
支払利息	△ 6,576
(B) 有価証券売買損益	△ 58,957,531
売買益	22,262,547
売買損	△ 81,220,078
(C) 信託報酬等	△ 8,478,635
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 67,442,742
(E) 前期繰越損益金	20,786,484
(F) 追加信託差損益金	66,701,788
(配当等相当額)	(28,132,051)
(売買損益相当額)	(38,569,737)
(G) 計(D + E + F)	20,045,530
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	20,045,530
追加信託差損益金	66,701,788
(配当等相当額)	(28,318,066)
(売買損益相当額)	(38,383,722)
分配準備積立金	21,637,550
繰越損益金	△ 68,293,808

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(28,318,066円)および分配準備積立金(21,637,550円)より分配対象収益は49,955,616円(10,000口当たり1,020円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第3期 運用報告書

(決算日：2023年2月27日)

SBI中国テクノロジー株・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI中国テクノロジー株・マザーファンドの第3期(2022年2月26日から2023年2月27日まで)の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	主として、上海証券取引所及び深セン証券取引所等に上場（これに準ずるものを含みます。）されている中国企業の株式のほか、中国の新興市場に上場されている企業の株式にも投資を行います。また、香港や米国の金融商品取引所等に上場されている中国企業の株式（預託証券を含みます。）にも投資する場合があります。
主要投資対象	中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 株式信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
(設定日) 2020年3月24日	円 10,000	% —	% —	百万円 1
1期(2021年2月25日)	11,933	19.3	89.9	815
2期(2022年2月25日)	12,206	2.3	93.6	649
3期(2023年2月27日)	10,507	△13.9	94.2	508

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首) 2022年2月25日	円 12,206	% —	% 93.6
2月末	12,307	0.8	94.3
3月末	11,521	△5.6	94.5
4月末	9,657	△20.9	94.4
5月末	10,099	△17.3	94.5
6月末	11,731	△3.9	91.4
7月末	11,499	△5.8	94.7
8月末	11,087	△9.2	93.2
9月末	10,146	△16.9	97.7
10月末	10,183	△16.6	97.6
11月末	9,993	△18.1	96.7
12月末	9,510	△22.1	95.7
2023年1月末	10,664	△12.6	94.1
(期末) 2023年2月27日	10,507	△13.9	94.2

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年2月26日から2023年2月27日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首12,206円から始まったあと、期末には10,507円となりました。期を通じて騰落率は△13.9%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2022/2/25	2022/3/2	2022/4/27	2023/2/27
基準価額 (円)	12,206	12,456	9,094	10,507

○投資環境

当期の中国株式市場は、下落しました。期初、上海のロックダウンが長期化し北京の防疫措置が強化されたことから市場は軟調に推移しましたが、政府がインフラ投資の拡大、消費刺激策などによる景気下支えを表明したことにより、ある程度下値が抑えられました。5月ごろ、金融緩和策、不動産取引規制の緩和といった政府の支援策により、市場は底打ちし一時的に上昇しました。7月は建設が止まった住宅の購入者が住宅ローンの支払いを拒否する動きが見られたことや、プラットフォーム企業に対する政府の規制強化の動きが嫌気され軟調となりました。さらに米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げも悪材料視されました。

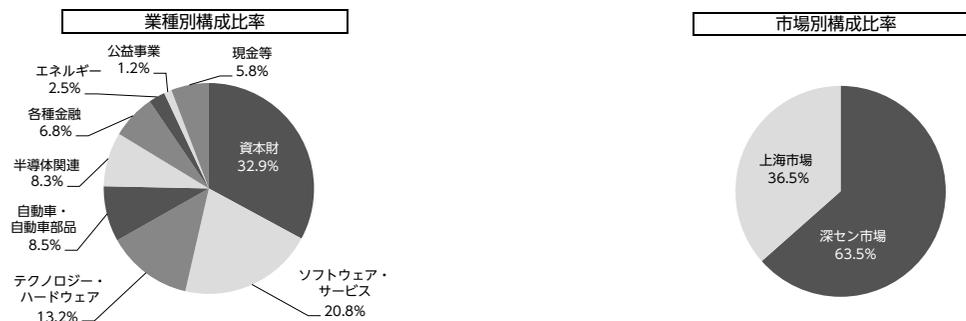
2022年末にかけて、ゼロコロナ政策による経済活動の制限が悪材料となり、米国の対中ハイテク規制もあり低迷しました。2023年に入り、政府のインターネット企業規制が緩和されるとの期待やゼロコロナ政策の解除を受け、市場は徐々に回復に向かいましたが、2月に入ると米国株安や気球を巡る米中関係緊張により再び株価は軟調となり当期を終えました。

当期の為替相場に関しては、米国国債利回り上昇に対ドルで人民元安が10月ごろまで続きましたが、その後は債券利回りの上昇一服を受け人民元は反発しました。対円では、10月ごろまで人民元高円安が進行しましたが、10月以降はドル高修正のなか人民元は、金融政策の修正期待のある対円で軟化しました。期を通しては人民元高円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

上海証券取引所及び深セン証券取引所、創業板上場している銘柄のうち、革新的なテクノロジーやサービスを提供する銘柄に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期は、システム、アプリケーション関連に加え EV、インフラ関連へのシフトも進めました。銘柄数は、30 銘柄前後を維持しました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

当期末の為替レート

通貨	レート	期首比
	円	%
人民元 (オフショア)	19.53	+6.8

※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○今後の見通しと運用方針

当期、①米国をはじめ主要国のインフレ抑制のための利上げと各国長期金利の上昇、②米政府による中国企業への規制強化の継続、③世界的な株安、④昨年未まで続いたゼロコロナ政策による経済活動の制限などから、軟調な株式市場が続いています。一方で、2023年に入り、ゼロコロナ政策解除により経済再開が本格化してきております。中国政府による景気刺激策の効果も発現し始めており、全体として、回復に向かい始めています。

国際競争力のある企業、政府の支援の期待される再生エネルギー、環境、EV関連や輸入代替的な製造企業などを中心に投資を行い、パフォーマンスの向上を目指して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月26日～2023年2月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	39 (39)	0.361 (0.361)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.070 (0.070)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	26 (26)	0.247 (0.246)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理、支払利息等にかかる費用
合 計	72	0.678	
期中の平均基準価額は、10,699円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年2月26日～2023年2月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	中国(オフショア)	百株 4,840 (589)	千人民元(オフショア) 15,124 (ー)	百株 8,452	千人民元(オフショア) 17,006

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年2月26日～2023年2月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	647,852千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	511,597千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.26

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月26日～2023年2月27日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業種等	
	株数	株数	評 価 額		
			外貨建金額 千円 <small>(千円)</small>		邦貨換算金額 千円
CHONGQING THREE GORGES-A	—	330	309	6,046	公益事業
SAIC MOTOR CORP LTD-A	—	505	755	14,756	自動車・自動車部品
DONGFANG ELECTRIC CORP LTD-A	—	600	1,190	23,251	資本財
YONYOU NETWORK TECHNOLOGY-A	278	—	—	—	ソフトウェア・サービス
HUNDSUN TECHNOLOGIES INC-A	182	230	1,023	19,996	ソフトウェア・サービス
NARI TECHNOLOGY CO LTD-A	670	510	1,320	25,800	資本財
PING AN INSURANCE GROUP CO-A	162	—	—	—	保険
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	300	220	983	19,212	半導体・半導体製造装置
GUANGZHOU AUTOMOBILE GROUP-A	—	523	602	11,768	自動車・自動車部品
SHENZHEN GOODIX TECHNOLOGY-A	64	—	—	—	半導体・半導体製造装置
SHANGHAI ATHUB CO LTD-A	199	—	—	—	ソフトウェア・サービス
WUXI SHANGJI AUTOMATION CO-A	—	50	566	11,064	資本財
CHINA SUNTIEN GREEN ENERGY-A	—	659	654	12,781	エネルギー
ZHUZHOU CRRC TIMES ELECTRI-A	—	135	689	13,458	資本財
ZHEJIANG SUPCON TECHNOLOGY-A	—	90	856	16,728	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WILL SEMICONDUCTOR LTD-A	75	—	—	—	半導体・半導体製造装置
ZTE CORP-A	331	200	602	11,758	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
UNISPLENDOUR CORP LTD-A	425	475	1,124	21,961	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
UNIGROUP GUOXIN MICROELECT-A	—	62	709	13,848	半導体・半導体製造装置
TCL ZHONGHUAN RENEWABLE EN-A	—	110	478	9,354	半導体・半導体製造装置
TOPSEC TECHNOLOGIES GROUP INC-A	458	—	—	—	資本財
IFLYTEK CO LTD - A	353	325	1,597	31,201	ソフトウェア・サービス
ZHEJIANG DAHUA TECHNOLOGY-A	527	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
GLODON CO LTD-A	—	171	1,019	19,906	ソフトウェア・サービス
GUANGDONG CREATE CENTURY I-A	—	430	371	7,248	資本財
SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	—	85	1,025	20,039	資本財
ACCELINK TECHNOLOGIES CO -A	390	390	861	16,827	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

銘柄	株数	当 期 末				業種等
		株数	評 価 額		千円	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
HANGZHOU HIKVISION DIGITAL-A	342	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
BYD CO LTD -A	—	32	856	16,724	自動車・自動車部品	
BEIJING THUNISOFT CORP LTD-A	465	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SIASUN ROBOT & AUTOMATION-A	1,055	800	850	16,610	資本財	
HITHINK ROYALFLUSH INFORMA-A	85	80	958	18,727	各種金融	
XIAMEN MEIYA PICO INFORMAT-A	620	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CHINA TRANSINFO TECHNOLOGY-A	530	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
EAST MONEY INFORMATION CO-A	642	390	815	15,921	各種金融	
BEIJING ORIENT NATIONAL-A	918	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SHENZHEN SUNLINE TECH CO L-A	552	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
LONGSHINE TECHNOLOGY GROUP-A	—	200	573	11,200	ソフトウェア・サービス	
SANGFOR TECHNOLOGIES INC-A	33	30	418	8,180	ソフトウェア・サービス	
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	40	26	1,054	20,588	資本財	
SHENZHEN SINOVATIO TECHNOL-A	148	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
YUSYS TECHNOLOGIES CO LTD-A	420	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SUZHOU MAXWELL TECHNOLOGIE-A	—	13	475	9,295	資本財	
BEIJING SINNET TECHNOLOGY-A	487	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
TANSUN TECHNOLOGY CO LTD-A	203	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ESTUN AUTOMATION CO LTD-A	—	280	692	13,525	資本財	
GUANGZHOU GREAT POWER ENER-A	—	48	320	6,253	資本財	
THUNDER SOFTWARE TECHNOLOG-A	148	83	771	15,077	ソフトウェア・サービス	
合 計	株数・金額	11,106	8,083	24,529	479,118	
	銘柄数<比率>	30	31	—	<94.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2023年2月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 479,118	% 94.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	29,545	5.8
投 資 信 託 財 産 総 額	508,663	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(481,546千円)の投資信託財産総額(508,663千円)に対する比率は94.7%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、2月27日における円換算レートは、1人民元(オフショア)=19.53円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月27日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	508,663,594円
コール・ローン等	29,545,128
株 式(評価額)	479,118,466
(B)負 債	74
未 払 利 息	74
(C)純 資 産 総 額(A - B)	508,663,520
元 本	484,119,714
次 期 繰 越 損 益 金	24,543,806
(D)受 益 権 総 口 数	484,119,714口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,507円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	531,999,348円
期中追加設定元本額	130,624,098円
期中一部解約元本額	178,503,732円
期末における元本の内訳	
SBI中国テクノロジー株ファンド	484,119,714円

○損益の状況 (2022年2月26日~2023年2月27日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	4,095,204円
受 取 配 当 金	4,118,189
支 払 利 息	△ 22,985
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 89,465,489
売 買 益	73,668,477
売 買 損	△ 163,133,966
(C)そ の 他 費 用	△ 1,332,121
(D)当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 86,702,406
(E)前 期 繰 越 損 益 金	117,366,578
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	11,375,902
(G)解 約 差 損 益 金	△ 17,496,268
(H) 計 (D + E + F + G)	24,543,806
次 期 繰 越 損 益 金(H)	24,543,806

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。